ぴーちっこ

発行　社会福祉法人　聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）

採用活動　進化中

子どもたちの支援のさらなる充実のために

乳児院も学園も、いわゆる設備及び運営に関する基準を上回る職員数を維持してきてますが、子どもたちの生活をより充実したものにするには、もっと職員が必要です。職員たちの本音は、年齢にかかわらず、子ども１人に対して大人１人が欲しいというところです。子どもたちは、施設に来た事情も、個性・特性も、背負っているトラウマも異なっているので、１人１人のニーズにかなったきめ細やかな対応をしていくには、大人の手が重なり合うチーム養育が求められます。

ところが、少子化で人手不足が加速度的に進んでいる今は、私たち社会的養護の業界でも、多くの施設で人手不足の状況に陥っています。

当法人では、これまで、他の施設ではなく、聖友乳児院、聖友学園で働きたいと思う職員に就職してもらうように、施設説明・見学会とその後の採用過程を工夫してきました。施設説明・見学会の参加は、就職希望者だけに絞らず、参加者に対しては社会的養護全般について説明もしています。当法人についての説明では、アピールポイントだけでなく、抱えている課題も伝えています。

X(旧Twitter)　Instagram

里親子サポーター ともさぽ 公式SNS

X(旧Twitter)　Instagram

聖友ホーム 公式SNS

就職を希望する人には、採用過程の中で必ず現場体験をしてもらうようにしています。他の施設とも比較した上で、是非聖友ホームで働きたいと考えた人にエントリーしてもらっているのです。

施設説明・見学会で話すアピールポイントには、３年前から切れ目ない支援のために取り組んできたライフストーリーワークや、今年度学園で始めたトラウマインフォームドケアなど、子どもを思う職員たちの支援内容や技術の向上を目指した取組みも入っています。

さらに、今夏から広報も一段と充実させました。昔ながらのハローワークや業界専用の求人サイトのチャボナビ、そして法人のHPに頼るだけでなく、若者世代に向けてインスタグラムやX（旧ツイッター）などに採用情報を出し、頻繁に更新しています。

加えて、次年度から、次の３つを導入することにしました。保育所の保育士にはすでに導入されていた宿舎借上げ制度（家賃補助）を利用し、入職の動機付けや若手層の離職防止を目指します。６５歳定年制を導入し、熱意や経験のある中途採用者にも当法人をアピールします。また、業界内での高い給与水準を維持すべく、年齢給を１万円増額します。

全て究極は子どもたちへの支援の充実のためです。進化する当法人の採用活動の周知や拡散を期待しています。

理事長　角南和子

親子の「時」を預かる記録

ライフストーリーワーク

聖友ホームが取り組んだライフストーリーワークプロジェクトは、最終年度に職員を対象としたアンケートを実施しました。その結果、特に乳児院職員は、子どもの成長過程やエピソードが子どもに届くよう、記録や写真保存に意識的に取り組む傾向にあることが分かりました。

子どもが乳児院を離れた後、新たな生活の場でアルバムを見てくれているとお聴きします。子どもの過去と現在を繋ぐ取り組みが、重要な他者によって支えられ、引き継がれていることに安堵し、感謝の思いが広がります。同時に、アルバムに添えられた言葉や眼差しを、子どもが少しずつ吸い込んで成長してくれていたらいいなと思えます。

FSW(家庭支援相談員)の記録も、親子の「時」を預かり、正しく子どもに手渡せることを責務と考えます。記録の終着が子どもであることを意識する時、親子面会で目にした場面や、交わされたことば、親の気持ちの一端を示すエピソードが記録できるようにと思います。しかしながらエピソード記録は、記録者個人のフィルターを通して表出するため、書き手の省察と言語化には慎重な姿勢が求められるでしょう。

省察によって、交流に関与している自身の行為を問い、交流後においては、自分の見方を疑いながら、親や親子の行動や発言を反芻し、その意味を考えることがあります。それらを積んだ先に家族の強み、らしさが見えてくるような気がします。言語化においては、状況や体感に即した様々な言葉のピースをかざして、当てて、考え直しながら言葉を探します。言葉を吟味しながら進む言語化は、家族に近づく、研ぎ澄ましの行為とも言え、省察と言語化は表裏一体と言えるかもしれません。しかし、自分が一貫してこうした行為に取り組んでいるとは言い難く、過去に自分が書いた記録を読んで、ぶつかる悔恨もあります。記録によって親子のカタチや唯一無二のエピソードが正しく有形化できるように、自分の弱さを顧みて、取り組まねばと思います。

聖友乳児院　家庭支援専門相談員　中山明代

学園　乳児院

合築事業の報告

その⑦

工事はいよいよ大詰めを迎えています。10月と11月には、完成まであと一歩の建物内部を見学させてもらいました。1階の乳児院の子どもの部屋のお風呂やトイレはどんなふうだろうか、事務所の窓はどのくらいだろうか、2階の学園の子どもの部屋やベランダの広さはどうだろうかなど、みんな期待いっぱいです。次号のぴーちっこでは、新しい建物の紹介をしっかりさせていただきます。

発行　社会福祉法人
聖友ホーム
法人本部　TEL 03-3336-9830 FAX 03-3338-4679
聖友乳児院　TEL 03-3338-1849 FAX 03-3338-4679
聖友学園　TEL 03-3338-1844 FAX 03-3338-1894
〒166-0001
東京都杉並区阿佐谷北3-28-19
Eメール　sasaetai@seiyuhome.org　ホームページ　https://seiyuhome.org

私たち 想いいっぱい、がんばってます！

～ 入職２年目の職員たちに聞きました ～

聖友乳児院では、入職を希望する人に対して、採用過程の中で、先輩職員が話す機会を設けています。今年度は、令和５年入職の今年２年目の職員たちが、来るべき後輩に、自分の体験や日々の想いを語りました。その想いを、読者の皆様にも、お届けします。

乳児院の中で聖友乳児院を選んだわけ

●児童養護施設の聖友学園が併設されていて、乳児院の退所後も切れ目ない支援を目指している。

●建替えが予定されていて、新建物では少人数のケアができるようにしていき、家庭的養育を目指している。

●採用実習の時に雰囲気の良さを感じた。

●見学のとき、人材育成が充実していることを知り、現場の明るい雰囲気や子どもたちののんびり過ごしている様子が印象的で、ここで働きたいと思った。

入職してよかったと思うこと

●新人育成を大切にしていること。オムツ交換から沐浴、記録の書き方など、一から丁寧に先輩職員に指導してもらえる環境が整っている。

●職員同士の雰囲気がよい。先輩職員が気にかけてくれて相談できる機会があるし、後輩が言いづらいことを受け止めてくれる。

●子どもの成長を共有し合う、「この子こんなことができるようになったんですよ」とか「こんなエピソードがあってね」などの会話が、職員間で日常茶飯事となっているところ。

●子どもの成長を日々近くで見守っていける。可愛い姿をたくさん見ることができる。

乳児院の仕事のやりがい

●保育園や幼稚園と異なり、２４時間一緒にいるので、初めて寝返りをする姿や、自分でスプーンを持って食事をする姿など、日々の小さな成長をいる機会が多く、元気をもらえる。

●最初は人見知りでうまく関われなかった子どもも、次第に人間関係を築いていき、職員に駆け寄って挨拶をするようになると親しんでくれたと感じ、嬉しい。

●自分のことを安心できる存在と子どもが感じている、自分を安全基地と思って子どもが活動していると思えた時、頑張ってきてよかったと強く感じる。

●保育観や医療面について、日々、学びがある。遊びで２，３人の少人数との関わりができ、子どもに合わせて遊びを展開できる自由があるのが楽しい。

入職して苦労したこと、努力したこと

●今これで遊びたいという子どもの意見（気持ち）を全部受け止められないこと。代わりに違う場面で思いっきり遊べるようにするなど工夫した。

●入職当初は、他の職員がよいと子どもに泣かれたり、注意をしても全く聞いてもらえなかったりなどがあり、頭を抱えた。１人で抱え込まないようにと先輩職員に相談して教えてもらい、自分の引出を増やした。

●子ども１人１人に適した関わりや働きかけが難しい。正解がない。職員間でうまく行ったことを共有したり、先輩職員に相談したりすることで対応の幅を広げる。

●夜勤のときは少人数で子どもの命を守らなければならないところ。集団生活をしているので、発熱や感染症などの対応が大変。新人職員には、相談できる３年目以上の先輩職員（チューター）がいるので、疑問に思ったことは悩まず相談する。

2023年度
松坂自立援助基金の事業報告

※松坂自立援助基金とは聖友学園に在籍している児童や卒園生の自立を援助する為に昭和62年に創設された基金です。
　毎年寄付を頂いている方やHPや広報誌　（ぴーちっこ）を見て寄付を頂いている方々のお力で成り立っています。

支給

20歳の祝い金を、4名（男児2名・女児2名）にお渡しさせて頂きました。
　10,000円×4名=40,000円
就職して1年間継続できた卒園生に、就労激励金として2名（女児2名）にお渡しさせて頂きました。
　10,000円×2名=40,000円

利用

聖友学園で生活している中学生児童全員を対象に、スマートフォン貸与を始めました。その際に必要な費用約30万円を、基金より使わせて頂きました。

貸付

①2021年度、4年制大学の進学費用として、1名に対して支援をしました。（1,267,300円）※現在、文学部外国語学科4年生です。卒業・就職に向けたラストスパートを頑張っています！
②高校2年生末に入所した、自己資金のない男児のスマートフォン購入資金として、15,800円を支援致しました。※こちらの男児は、無事に高校を卒業し、理系の大学へと進学しております。
③自立後、就職先で躓いた21歳（当時）男性に、再就職に向けたサポー　トとして、15万円を支援致しました。

松坂自立援助基金に賛同されている皆さまへ
　この度は、20歳のお祝いを頂き、ありがとうございます。私は長い間、聖友学園で生活していました。当時担当だった先生方は私にとって親代わりです。卒園後、会いたいとは思っていましたが、なかなか　きっかけがつかめず、今回のお祝いのお話で連絡を頂いた際は、驚きと嬉しさで涙が出ました。
　お祝いを頂いた際にもたくさん話すことができ、また気軽に学園に遊びに行っても良いんだということを聞いて、とても嬉しいです。なかなか信頼できる人ができず仕事も大変ですが、私には応援してくださるたくさんの方々いることを知りましたので、また明日から頑張れます。
　皆さんにご支援頂いたこと、決して忘れません。

２０歳の祝い金を頂いた女児：住まいは都内

自立支援担当職員※より

松坂自立援助基金に賛同してくださっている皆さま
　日頃より、子どもたちの自立援助に向けた多大なご協力に感謝申し上げます。
　現在、聖友学園では可能な限り、子どもたちが自信を持って社会に出られるように、入所期間を延ばしております。以前は18歳の年度末になると、半ば強制的に卒園しなければならず、まだまだ自立できていない半人前の子どもたちを、社会に出さなければならない状況でした。　ここ最近、ようやく制度も整い、自立に向けた細やかな支援ができる環境になってきております。
　子どもから大人になり、社会で主体的に生きていくことは、施設入所経験のある子どもにとっては容易ではありません。我々は皆様の支援を基に、志高く今後も取り組んでまいります。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

聖友学園　自立支援担当職員　永禮伸作

※聖友学園には、卒園生や卒園に向けた子どもたちを専門にサポートする、自立支援担当職員という役職があります。

松坂自立援助基金への振込先はこちらです

《松坂自立援助基金寄付振込先》

①郵便局
　記号番号　00190-7-712832
　口座名義　社会福祉法人聖友ホーム
　　児童養護施設聖友学園
②銀行　　ゆうちょ銀行(9900)
　支店名　　〇一九支店(019)
　口座番号　072832（普通預金）
　受取人名　ｼｬｶｲﾌｸｼﾎｳｼﾞﾝｾｲﾕｳﾎｰﾑ
　　ｼﾞﾄﾞｳﾖｳｺﾞｼｾﾂｾｲﾕｳｶﾞｸｴﾝ

松坂基金以外の一般の寄付もお願いします

《一般振込先》

①郵便局
　記号番号　00160-1-766760
　口座名義　聖友ホームささえ隊
②銀行名　　ゆうちょ銀行（9900）
　支店名　　〇一九店（019）
　口座番号　0766760（当座預金）
　受取人名　ｾｲﾕｳﾎｰﾑｻｻｴﾀｲ